

議長定例記者会見（H 2 9 . 6 . 3 0 ）

（報告）

それでは私から、御報告させていただきます。まずは、お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。

初めに、6月定例会採決結果について御報告いたします。

知事提出議案47件のうち、議案8件を可決・同意・承認し、報告のみが39件ありました。

議員発議案については、1件が可決となり、1件が否決となりました。

議員派遣については、国内派遣2件が可決されました。

次に、今月8日に行われました「平成30年度重点施策に係る提案活動」ですが、これは県議会及び執行部・市長会・町村会合同で行い、全国的な制度改正や社会資本の整備、地方財政対策の充実など、平成30年度の国の予算編成及び施策立案において検討してもらいたい事項について、新規の4件を含め全部で18件、提案しました。

要望先としては、内閣官房を初め関係省庁等合わせて8カ所となりました。

また同日、総務省、財務省、自由民主党に対しては、併せて「平成30年度地方財政対策に関する要請」を行い、地方の基金残高の全国総額の増加を理由として、地方交

付税総額の削減を行わないこと、また、地方の安定的な財政運営に必要な一般財源総額を確保することを強く求めました。

次に、本県議会と韓国・済州特別自治道議会との、仮称であります、友好交流協定を締結することについて、今月15日に開催した各会派代表者会議において了承をいただきましたことから、8月の協定締結に向け、相手道議会と協議をしながら手続を進めていることを報告いたします。

私からは以上です。

○ 記者

今定例会から、一般質問の再質問で一問一答方式を導入し、三日間一般質問がありました。トータルでどのように評価されましたでしょうか。

○ 議長

今議会からの導入ということで、各議員も趣旨を理解していただいて、論点を絞り込んだような形ではなかったかと思えます。結果として論点が明確になって議論も深まり、また、県民の方々にもわかりやすかったのではないかと考えております。

○ 記者

今の関係で、議員の中からも、傍聴にいらした方の中からも、時間が短いのではないかと、更なる改善を求めるような声も上がっていましたが、そのあたり議長

としてはどのようにお考えでしょうか。

○議長

実はこの点について、私が議会運営委員会の委員長のときに、小委員会の方でも御検討いただきましたが、再質問の時間に関しましては、過去5年ぐらいだったでしょうか、平均の質問と答弁の時間を調べましたら、約10分でした。

それでは、その10分くらいでいいのではないかというような議論もありましたが、せっかく導入するに当たっては、もう少し質疑の時間を多くしてもいいのではないかとということで、15分に決定をいたしました。

足りないというようなことも、それは質疑者によって捉え方はいろいろあるかと思いますが、そういう経緯があって15分という決定をいたしておりますので、当面はこれを継続していきたいと思っています。

○記者

議会棟に設置されております議員専用喫煙室について伺いしますが、前議長が廃止を含めて検討するというような見解を示されていましたが、その後、議員間の協議がなされてどのような状態になっているのかお聞きしたいのですが。

○議長

昨年12月議会の後の記者会見でそういう発言が清水前議長からあったと記憶いたしておりますが、おそらく、これまではそのことについての議論、協議というのは進んでおりません。

○ 記者

今月14日に「健康あおもり21」の専門委員会が開かれておりまして、その席上でも、議会棟に設置されている議員専用の喫煙室はいかがなものかという意見が出たということですが、そういう報告というのは受けていますか。

○ 議長

そのような報告は受けておりません。

○ 記者

今後協議する予定は現時点でありますか。

○ 議長

大変認識不足で申し訳ないですが、今初めてそういう話を聞きましたし、それと、国の方で健康増進法改正の議論もこれからまた進んでいくと思われまますので、そういう状況も見ながら考えていきたいと思えます。

○ 記者

濟州の道議会との交流が、皆さん、全会派の意見が一致して、前に進むことになったと思えますが、議長としての受け止めというか、期待度を今一言聞きたいなと思えますが。

○ 議長

今年の1月に濟州道を訪問された議員の方々が交流に非常に積極的な考えをお持ちでしたし、また、それ以前

に県と道との協定も結ばれ、そして様々な交流が進んでおりますので、議会が協定を締結することによって、今までの交流というものがより促進される、あるいは深まっていくということを期待いたしております。

以上です。